

OS と Starter Pack について

Express5800/R120h-1M/2M/1E/2E, T120h では、Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。システムの安定稼働のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、各 OS に対応した Starter Pack を適用してください。

Starter Pack は、各 OS に対応するバージョンの中で最新のものを適用することを推奨します。

OS インストール前準備および適用手順

1. 「OS と Starter Pack 対応表」を参照し、OS と Starter Pack の対応について確認します。
2. 「Starter Pack のバージョン確認とダウングレード/アップデート方法」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認します。
3. 「OS と説明書の対応表」を参照し、説明書を用意します。
4. ファームウェアダウングレード、またはファームウェアのアップデートが必要なときは、ファームウェアダウングレード/ファームウェアアップデート手順書に従い、OS インストール前に Starter Pack を適用します。適用後、該当する Starter Pack が正しく適用されているか確認してください。
5. インストールガイドおよび関連資料を参照し、OS をインストールします。
6. OS インストール後、インペーションエンジン(IE)ファームウェアおよび サーバプラットフォームサービス(SPS)ファームウェアモジュールの内容を確認し、必要に応じてこれらをアップデートします。

OS と Starter Pack 対応表

Express5800/R120h-1M/2M/1E/2E, T120h では、Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。

下記の表を参照し、対象 OS に対応した Starter Pack を適用してください。

対象 OS	OS バージョン	Starter Pack バージョン			
		S8.10-001.xx	S8.10-002.xx	S8.10-003.xx	S8.10-004.xx
Microsoft Windows	Windows Server 2012R2 (Standard / Datacenter)	✓	✓	✓	✓
	Windows Server 2016 (Standard / Datacenter)	✓	✓	✓	✓
Red Hat Linux	Red Hat Enterprise Linux 6.9(x86_64)			✓	✓
	Red Hat Enterprise Linux 7.3	✓(※)	✓(※)	✓(※)	
	Red Hat Enterprise Linux 7.4		✓	✓	✓
	Red Hat Enterprise Linux 7.5				✓
VMware	VMware ESXi6.0 update3	✓	✓	✓	✓
	VMware ESXi6.5 update1	✓	✓	✓	✓
	VMware ESXi6.5 update2				✓
	VMware ESXi6.7				✓

補足事項

- Starter Pack のバージョンの末尾 2 桁は、数字が記載されていますが、xx に読み替えてください。
例 : S8.10-001.01 であれば、S8.10-001.xx と読み替える。
- Starter Pack は、S8.10-001.xx → S8.10-002.xx → S8.10-003.xx → S8.10-004.xx の順にリリースされています。安定稼働のため、最新版を活用することを推奨します。
※Red Hat Enterprise Linux 7.3 を新規にインストールする場合、サーバー/オプションのファームウェアのアップデートは必須です。
後述のアップデート手順に従い、必ず OS インストール前にファームウェアをアップデートしてください。
- オプション(UL 型番)の Starter Pack は、最新バージョンのみを販売しています。古いバージョンの Starter Pack を入手したい場合は、Web からダウンロードしてください。なお、新規にサーバーを手配した場合、最新の Starter Pack が適用されて出荷されます。
- Starter Pack および EXPRESSBUILDER、IE ファームウェア、SPS ファームウェアは、下記の web サイトからダウンロードできます。
<http://jpn.nec.com/express/>
(「サポート・ダウンロード」-「ドライバ・ソフトウェア」-「PC サーバ (Express5800 シリーズ)」-「OS 関連」のページから型番を選択)

Starter Pack のバージョン確認とダウングレード/アップデート方法

サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンの確認方法

- サーバーが納入された時点でサーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認する場合は、BMC(iLO5)のファームウェアバージョン、EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンのみで確認することができます。
- 運用中にサーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認する場合は、BMC(iLO5)のファームウェアバージョン、EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンを組み合わせることで、対応する Starter Pack のバージョンを確認することができます。
- 装置管理 / 定期メンテナンスに備え、適用した Starter Pack のバージョンを別途記録するようにしてください。

iLO5 ファームウェアのバージョン	EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン	対応する Starter Pack のバージョン
1.10	-	S8.10-001.xx
1.15	-	S8.10-002.xx
1.20	-	S8.10-003.xx
1.30	-	
1.35	3.10.222	
1.35	3.20.154	S8.10-004.xx
1.38	-	

※ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンが「-」となっている箇所は、BMC ファームウェアのバージョンの確認のみで Starter Pack のバージョンが確定します。

- BMC ファームウェア、EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンの確認には以下 2 つの方法があります。

アップデート対象装置にて確認する場合 < システムユーティリティでの確認 >

1. アップデート対象装置の電源を入れ、POST 中に <F9> キーを押してシステムユーティリティを起動し、「System Information > Firmware Information」を選択すると、画面に各ファームウェアのバージョンが表示されます。
2. 「iLO5 Firmware」、「EXPRESSBUILDER」からバージョンを確認します。
3. バージョン確認後は、<ESC>キーまたは「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
注)システムユーティリティの詳細は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照してください。

リモート環境から確認する場合 < BMC WEB インターフェースからの確認 >

1. リモート環境において、BMC WEB インターフェースにログインします。
2. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
3. 画面に各ファームウェアのバージョンが表示されます。「iLO5 Firmware」、「EXPRESSBUILDER」からバージョンを確認してください。

ファームウェアをアップデートする方法

- ファームウェアをアップデートする場合、対象の Starter Pack を NEC Web サイトから入手してください。
- 対象の Starter Pack のダウンロードページに記載の手順に従い、アップデートしてください。
- アップデート手順は、対象の Starter Pack のダウンロードページに記載されています。手順に従い、アップデートしてください。
- Red Hat Enterprise Linux 7.3 を新規にインストールする場合は、BMC(iLO5)ファームウェアバージョンが「1.35」、EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンが「3.10.222」であることを必ず確認してください。バージョンが合っていないときは、以下手順に従いファームウェアを更新してください。
 - 1) BMC のファームウェアバージョンが「1.30 以前」である場合、Starter Pack S8.10-004.xx の「オフラインからのファームウェアアップデート」に従い、サーバー本体(System ROM、BMC(iLO5)ファームウェア、BMC(iLO5)ファームウェアの日本語言語パック)と RAID コントローラのファームウェアを適用してください。
 - 2) EXPRESSBUILDER Version E8.10-003.01 の「アップデート手順」に従い、EXPRESSBUILDER を更新してください。
 - 3) Starter Pack S8.10-003.xx を使用し、ファームウェアダウングレード手順書に従ってファームウェアを適用してください。このとき、ファームウェアダウングレード手順書に記載されている【対象機種と対象バージョン】は無視してください。また、手順書に記載のとおり、System ROM、Power Management Controller、RAID コントローラ、BMC(iLO5)、BMC(iLO5)言語パック、および HDD/SSD 製品のファームウェアはダウングレードしないようにしてください。
- ファームウェアアップデートが完了した後、説明書の手順に従って OS をインストールしてください。
- OS インストール後、IE ファームウェア、SPS ファームウェアの内容を確認し、必要に応じてアップデートしてください。

ファームウェアをダウングレードする方法

- ファームウェアをダウングレードする場合、対象の Starter Pack を NEC Web サイトから入手してください。
- ダウングレード手順は、対象装置のユーザーズガイドの Web サイトから入手できます。手順に従い、ダウングレードしてください。
- ファームウェアダウングレードが完了した後、OS をインストールしてください。

- 現在、ファームウェアのダウングレードが必要となる OS は、RHEL7.3 のみです。

OS と説明書の対応表

OS をインストールする場合は、下記の説明書の手順に従い、適切な Starter Pack からファームウェアを適用後、OS をインストールし、Starter Pack を適用してください。

対象 OS	OS バージョン	説明書									
		Starter Pack のバージョン確認とダウンロード / ファームウェア方法 (本書)	インストールガイド (Windows 編)	インストールガイド (Linux 編 RHEL7.3 編)	インストールガイド (Linux 編 RHEL6.9 編)	Linux インストールガイド正誤表	インストールガイド (VMware 編)	ファームウェアアップデートの手順 (※1)	ファームウェアダウンロード手順書 (※2)	RAID コントローラ / SAS コントローラ ファームウェアモジュール(※4)	Server Platform Service(SPS)ファームウェア, Innovation Engine(IE)ファームウェア(※5)
Microsoft Windows	Windows Server 2012R2 (Standard / Datacenter)	✓	✓					✓		✓	✓
	Windows Server 2016 (Standard / Datacenter)	✓	✓					✓		✓	✓
Red Hat Linux	Red Hat Enterprise Linux 6.9 (x86_64)	✓			✓	✓		✓		✓	✓
	Red Hat Enterprise Linux 7.3	✓		✓		✓		✓	✓	✓	✓
	Red Hat Enterprise Linux 7.4	✓		✓		✓		✓		✓	✓
	Red Hat Enterprise Linux 7.5	✓		✓		✓		✓		✓	✓
VMware	VMware ESXi6.0 update3	✓					✓	✓		✓	✓
	VMware ESXi6.5 update1	✓					✓	✓		✓	✓
	VMware ESXi6.5 update2	✓					✓	✓		✓	✓
	VMware ESXi6.7	✓					✓			✓	✓

補足事項

- 説明書(インストールガイド / ファームウェアダウングレード手順書 / Linux インストールガイド正誤表)は下記から入手してください。
<http://jpn.nec.com/>
(「サポート・ダウンロード」-「カタログ・マニュアル」-「PC サーバ (Express5800 シリーズ)」-「100 シリーズ」項目から対象のモデルを選択。ユーザズガイドのページにアクセスします。)
- ※1：適用されている Starter Pack が S8.10-003.xx 以前だった場合、S8.10-004.xx を使用し、ファームウェアのアップデートを推奨します。対象 Starter Pack を NEC Web サイトから入手してください。アップデート手順は、対象の Starter Pack のダウンロードページに記載されています。手順に従い、アップデートしてください。
- ※2：適用されている Starter Pack が S8.10-004.xx 以降だった場合、S8.10-003.xx を使用し、ファームウェアのダウングレードが必要になります。詳細は、ファームウェアダウングレード手順書を参照してください。
- ※3：Red Hat Enterprise Linux 7.3 を新規にインストールする場合は、BMC(iLO5)ファームウェアバージョンが「1.35」、EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンが「3.10.222」であることを必ず確認してください。バージョンが合っていないときは、「Starter Pack のバージョン確認とダウングレード/アップデート方法」の「ファームウェアをアップデートする方法」に従い、アップデートしてください。
- ※4：適用されている RAID コントローラ(N8103-189/190/191/192/193/194/195/201) / SAS コントローラ(N8103-197)のファームウェアバージョンが 1.05/1.34 (または 1.05-0/1.34-0 と表示)だった場合、ファームウェアを 1.65(または 1.65-0 と表示)にアップデートが必要になります。また、N8103-196 RAID コントローラに Disk 増設ユニットを接続してご使用の場合は、「N8103-196 RAID コントローラファームウェアモジュール」を参照し、1.05 (または 1.05-0 と表示)にアップデートが必要となります。
ファームウェアのバージョン確認および適用手順については、「RAID コントローラ / SAS コントローラのファームウェアモジュール」を参照してください。

- ※5：説明書(Server Platform Service(SPS)ファームウェア, Innovation Engine(IE)ファームウェア)は下記から入手してください。
<http://jpn.nec.com/>
(「サポート・ダウンロード」-「カタログ・マニュアル」-「PC サーバ (Express5800 シリーズ)」-「100 シリーズ」項目から対象のモデルを選択。ダウンロードのページにアクセスします。)